

幕張サン・ハイツ自主防災会広報

No.15

幕張サン・ハイツ自主防災会 2019.8

「戸別現況調査」結果について（ご報告）

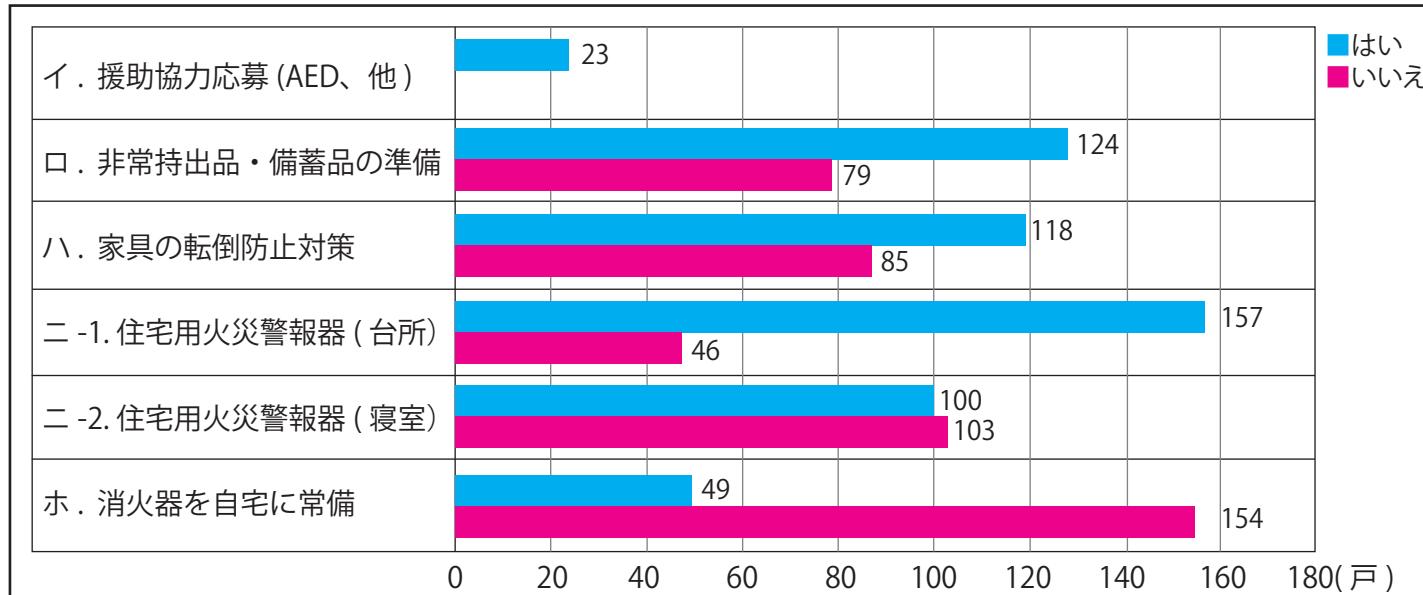
幕張サン・ハイツ自主防災会

1. 令和元年6月16日～7月7日までの『戸別現況調査票』を集計した結果をご報告します。

回収した『戸別現況調査票』は、203戸でした。空室の15戸を除いた225戸を分母にすると、回収率は203戸/225戸=90%で、前回の173戸（回収率77%）から大幅な増加となりました。多くの方々からのご協力、誠にありがとうございました。

内容につきましては、安否確認を要請する未就学児が数戸記載があり、震災時の未就学児に対する対応も必要であることがわかりました。また、緊急連絡先は、知りたい情報の一つですが、記入されていないものが、10数件ありました。

2. アンケートの結果は、以下のとおりです。（回答203戸）



ロ. 非常持出品・備蓄品を準備している家庭は、61%でした。水、非常食は常備しているが、携帯用トイレが準備できていない家庭が多い。災害が発生すると停電や断水が起きるかもしれません。そこで一番困るのがトイレ問題です。携帯用トイレは絶対に必要です。各家庭で必要量を準備して下さい。

ハ. 家具の転倒防止対策をしている家庭は、58%でした。阪神大震災の時の負傷の原因の7割は家具・電化製品の下敷きになったり、飛散したガラス等でした。したがって、家具の固定やガラスの飛散防止等を事前に実施しておれば、大半の負傷者を防ぐことができます。家具の固定等の事前対策は、すぐに実施して震災に備えましょう。

ニ. 住宅用火災警報器の設置では、台所が77%に対して、寝室は49%でした。千葉市条例では寝室と台所に設置が義務付けられています。未設置の方々は設置を考えて頂きたいと思います。定期的に作動確認し、10年を目安に交換しましょう。

ホ. 消火器を自宅内に常備している家庭は、なんと24%でした。屋外に設置してある消火器を使えば間に合うという考え方かもしれません、その間に燃え広がり手が付けられなくなる可能性があります。手元にあれば初期消火はすぐにできますので、すぐに購入を考えて下さい。

3. 自主防災会に対する意見について（抜粋）

- (1) 老夫婦の二人暮らしです。何かあれば誰々に連絡をお願いいたします。
- (2) 防災会の方々のお蔭で安心して暮らせます。感謝しております。
- (3) 全住民を対象とした各種訓練を自主防災会主体とし、実施してください。
- (4) 広報は大変参考になり、指針と存じます。熱心なご尽力に心より感謝申し上げます。
- (5) できるだけ「イザ」という時の準備をしていますが、もう一度よく考えてみます。

以上多くの励ましなどのご意見を賜りましたが、(3)のご意見について、自主防災会では、全住民を対象とした各種訓練を訓練計画を立てて実施しておりますが、中々、参加者が集まらないのが現状です。防災への意識を向上させるにはどうすればよいか検討します。

4. 『調査結果』をふり返って

今回の調査で、3～5階にお住いで支援が必要とするお宅があることが分かりました。

自力歩行が可能か不明ですが、普段から非常用階段避難車・ソフト担架等による階段避難の訓練の必要性を感じました。

今後の自主防災会の訓練は、例えば、各棟ごとに非常用階段避難車・ソフト担架等による階段避難を実施するなど、多くの人々が体験できる方策を考えていきたいと思います。